

# 2つめの重点項目

平成28年度は、「子ども子育てアクションプランの推進」「交流定住施策の展開」の2項目に重点を置いて予算を編成しています。その主なものを紹介します。(抜粋)

※第2次真庭市総合計画の実施計画である「真庭市まち・ひと・しごと総合戦略」の事業は、(総合戦略)と表記しています。



真庭市は、「安心して真庭で出産・子育てできる環境」を目指して、妊娠前から子育てまで切れ目のない支援をしてくれるの。子育ての相談・支援のワンストップ拠点になる「真庭市子育て世代包括支援センター」を作って、総合的な子育てサポート・ケアもしてくれるなんて、これから私たちも安心だわ。

## ①子ども子育てアクションプランの推進

### 妊娠前

#### ■妊娠の希望を叶える

#### ●不妊治療支援事業(総合戦略)

1200万円【拡充】

不妊症のため、子どもを授かることができない夫婦が、医療保険対象外の不妊治療を受けた場合、治療費の一部を助成

※対象者と助成上限額を拡大

- ・「婚姻後1年以上経過」「市内居住1年以上」といった条件を撤廃
- ・助成上限額を倍増(年20万円)

#### ●不育治療支援事業(総合戦略)

90万円【拡充】

不育症のため、子どもを授かることができない夫婦が、医療保険対象外の不育治療を受けた場合、治療費の一部を助成

※対象者を拡大

- ・「婚姻後1年以上経過」「市内居住1年以上」といった条件を撤廃

### 妊娠・出産期

#### ■「妊産婦の不安解消」「健やかな妊娠・出産」を地域できめ細かにサポート

#### ●妊産婦ケア事業(総合戦略)

326万円【新規】

#### 「産後ショートステイ事業」

出産後1カ月以内の母子が委託先医療機関にショートステイ(宿泊)し、母乳管理や乳児の世話などについて指導を受けながら、心身の回復を図る

#### 「産前産後サポート事業」

出産前後に、心身の不調などで家事や育児の援助を必要とする人の負担軽減を図るために委託事業所などからヘルパーを派遣し育児や家事の支援を行う

#### 「子育て支援ヘルパー等養成事業」

子育て支援ヘルパーに対して、母子支援に関する専門知識を養う講座を実施



4月に開園した天の川こども園

### 子育て

#### ■十分な保育機会の提供

#### ●保育士資格等取得支援事業

33万円【新規】

認定こども園の運営に必要な人員確保のため、任期付職員を含む職員の資格取得の支援を行う

#### ■女性の就業継続支援

#### ●シルバーママ導入検討事業

133万円【新規】

地域で子育て世代を支援(家事支援など)する仕組みづくりを検討

## 親子の居場所づくり

### ● つどいの広場事業

896万円【拡充】

乳幼児（0～3歳児）を、主に家庭で保育する親子が交流する場として、市内5カ所で開催している「つどいの広場」を支援

### ● 中央図書館整備事業

5910万円【新規】

勝山振興局庁舎を転用し、中央図書館を整備（平成30年度開館予定）開館に向けて収蔵する書籍を計画的に購入



中央図書館として整備する勝山振興局庁舎

## 教育

### ■ 10年後の真庭を担う人材を育てる

### ■ 確かな学力を育む

### ● 学校力向上事業

4191万円【拡充】

小学校3年生～中学校3年生の全学年で「学力調査」を実施し、調査結果をもとに放課後学習支援員が一人一人に合わせたきめ細かい指導を行う  
児童生徒の学級満足度や意欲、対人関係や集団行動を上手に営んでいくための技能などを調査用紙を使い客観的に把握し、必要に応じてスクールサポーターによる登校支援などを実施

### ● ICT等活用学習環境づくり事業（総合戦略）

3319万円【拡充】

無線LANや教職員用にタブレットなどを整備して分かりやすい授業の推進やネットワークを活用し市外地域との交流学习などを実施。今年度、落合小学校が全国モデル事業「うみやまかわ新聞」（ICTを活用し、専門家から郷土新聞作成の指導を受け、全国の参加校とも交流）に参加

### ■ 生きる力を育む

### ● 放課後児童健全育成事業

4873万円【拡充】

保護者が仕事などで昼間家庭にい



樫邑小学校での授業風景

ない児童を対象に、放課後や長期休暇などに公共施設などを利用して、安全な居場所を確保する  
※平成28年度学童保育2カ所新設

### ● 学校支援地域本部事業

72万円【拡充】

学校が必要とする活動や授業などに地域のボランティアが参加して支援を行う

### ● 人材育成支援事業

443万円【新規】

児童・生徒が行う市内・国内・国際交流事業を支援（人材育成基金を活用）

### ● 家庭教育支援事業

111万円【拡充】

教員・保育師のOBや子育て経験

者からなる家庭教育支援員が、参観日や入学説明会などで保護者を対象に講習会を開催し、子どもが生きていく上で必要な力を身に付ける支援を行う

### ■ まにわ型教育環境の整備

### ● 北房統合小学校等整備事業

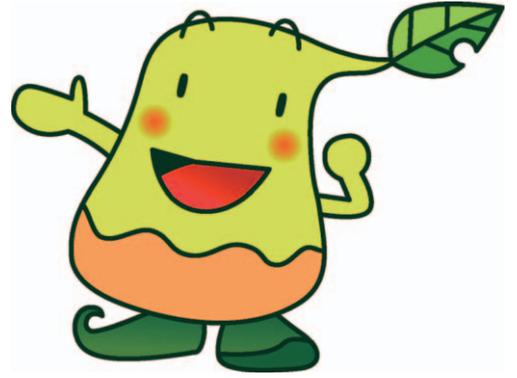
1億3079万円【新規】

北房地域の保育園等5園、小学校4校を統合し放課後児童クラブとも同一敷地内に整備（平成30年開校予定）

真庭市は、子育てや教育に力を入れて取り組んでいるんだね。紹介した事業のほかにも、継続して行う事業もたくさんあるんだよ。家族や地域のみんなに支えられている僕らも、頑張ってる勉強していかないとね。



2020年に人口の社会増を目指すために、真庭市は新しい「ひと」の流れをつくることに取り組んでいるんだ。それぞれの地域が自分たちの地域の魅力を見直して、その魅力を外の人に知ってもらって、来てもらう。それがUターンやIターンにつながっていけばいいね。



## ② 交流定住施策の展開

### 地域を興す

#### ■ 地域の振興

#### ● 地域振興事業の実施(総合戦略)

3835万円【新規】

地域住民と地域おこし協力隊、集落支援員、地域振興主管、外部有識者などが連携し、全振興局で事業を強力に推進

※主な事業の内容は左記事業一覧をご覧ください。

#### ■ 人材の育成

#### ● 地域人材マッチング事業(総合戦略)

100万円【新規】

新たな産業を生み出すために、さまざまな地域や業種で活躍する人をつなぐ

#### ● 地域づくり大会

62万円【新規】

講演会や地域活動の発表を通して

#### ■ 人材の確保

#### ● 海外展開のための人材確保と人的ネットワークの構築事業(総合戦略)

373万円【新規】

国際交流や地域産物の海外展開を進めるため、CIR(国際交流員)を配置

#### ■ 郷育

#### ● 地元企業と連携した学習事業(総合戦略)

49万円【新規】

各事業所の協力をいただき、職業人の話を聞く会や職場体験を実施

#### ● まにわブックス事業(総合戦略)

6万円【新規】

真庭の歴史や文化財、自然などの地域資源を市民と協力して調査し、市内外に情報を発信

### 知ってもらおう

#### ● 真庭市交流定住サイトの運営や各種広報事業

1055万円【新規】

市内の交流、移住、定住に関する最新の情報を発信

### ～ 各振興局事業一覧 ～

- **蒜山地域**
  - ・農村集落活性化支援事業 510万円【継続】
  - ・別荘等利活用事業 20万円
- **北房地域**
  - ・すっぽんを活用したまちおこし事業 20万円
  - ・北房地域振興事業[阿口] 110万円
- **落合地域**
  - ・落合中心部の活性化事業 41万円
  - ・小さな拠点づくり事業 23万円
- **久世地域**
  - ・「上野こうげ」の活用から地域の一体感をつくる事業[櫻邑] 135万円
  - ・「ふるさと」に接して定住につなぐ事業[余野] 94万円
  - ・中心部空き家活用事業 15万円
- **勝山地域**
  - ・山村活性化支援事業 1,000万円【継続】
  - ・勝山カレッジプロジェクト 39万円
  - ・町並み活性化事業 227万円
- **美甘地域**
  - ・山村活性化支援事業 1,000万円【継続】
  - ・美甘振興局を拠点とした集落維持・再生の仕組み(小さな拠点)づくり 34万円
- **湯原地域**
  - ・湯原地域魅力発見・活用事業 135万円
  - ・中世式内八社の歴史活用事業[社] 315万円
  - ・トライアスロンを活用した地域振興事業 119万円



真庭なりわい塾現地見学会

●ふるさと納税業務

4927万円【新規】

「納税額1億円」を目標として記念品を拡充し、パンフレットを作成

●UIターン対策

303万円【継続】

移住相談会（東京・大阪・名古屋）に年10回程度参加し、移住希望者に真庭をPR

●シティプロモーション戦略

（総合戦略） 226万円【新規】

市職員の広報力強化、職員向けセミナーを通してのプロモーション戦略の研究・実践、MITの活用（ホームページなどで動画の配信）

●まにぞうプロモーション（総合戦略）

200万円【新規】

会社や学校などと協力し、「まにぞう」による広報を展開

●真庭市の価値向上戦略（総合戦略）

530万円【新規】

関西・首都圏に向けて真庭の魅力をマスコミを通じて発信することにより真庭市の知名度を向上させる

来てもらう

●真庭なりわい塾の開催（総合戦略）

800万円【新規】

里山資源を活用した生きるための100の生業をつくり、小さな経済を地域内で回していく仕組みをつくりだす人材を育成

中和地区を会場に前期（5月～9月）全5回、後期（10月～平成29年1月）全4回の塾を開催

●真庭体験ツアー（総合戦略）

90万円【新規】

多彩な真庭の価値を体験する各種ツアーを実施

●おためし住宅推進事業（総合戦略）

350万円【継続】

真庭市に移住を希望する人が一定期間安心して滞在できる住宅を整備

■住宅確保支援

●空き家片付け補助金（総合戦略）

240万円【新規】

空き家情報バンクの登録希望者が、家を片付ける際に補助金を支給（上限12万円、20件予定）

●地域空き家情報バンク登録補助金（総合戦略）

60万円【新規】

地域ぐるみの取り組みにより、空き家を登録した場合に補助金を支給（1軒につき3万円、20件予定）

■住んでもらう

■住宅取得支援

●住宅取得補助金

1000万円【拡充】

移住者が中古住宅を取得する場合、補助金を交付する（上限1000万円）

●空き家改修補助金

1000万円【継続】

移住者が住宅を改修する場合、補助金を交付する（上限1000万円）

■「じごと」情報の発信

●真庭の「じごと」魅力発信事業（総合戦略）

67万円【新規】

市内の魅力的な「じごと場」の情報を高校生や大学生を中心に、映像やパンフレットにより紹介

## 真庭市交流定住センター

真庭市交流定住センターでは移住・定住に関する情報提供や相談、地域とのマッチングや地域自主組織の活動のお手伝いをしています。また、市民活動支援プラザの仕事も引き継いでいます。

- 休業日 月曜日・火曜日、年末年始
- 営業時間 10:00～17:00
- 問い合わせ先 TEL・FAX 7-44-1031
- ウェブサイト <http://i-maniwa.com/area/koryu/>



# 真庭市総合計画の5本の柱



重点項目のほかにも、真庭市総合計画の5本の柱に沿った取り組みもしていくんじゃ。福祉や産業、文化やスポーツで新しい取り組みや充実させる取り組みを紹介しようかねえ。

## I. 真庭市民の誇りと責任

●議会や市民活動費、徴税関係費、人権教育や男女共同参画推進など  
4億5745万円

## II. ライフスタイルを 実現する可能性の進化

●子どもの安全見守り事業

945万円【新規】  
市内全ての小中学校に防犯カメラを設置することにより、児童・生徒の安全安心を確保する  
※平成28年度小学校24校、中学校2校に設置予定

●障がい児通所支援事業

1845万円【拡充】  
障がいのある児童に対し、身近な地域で障がい児支援の専門施設に通所し日常生活における基本的な動作、知識技術、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行うサービスを提供する

●目指せ!!がん検診で健康寿命延伸事業  
3350万円【拡充】

がんの予防と早期発見を図るために各種がん検診を実施する

●養護老人ホーム整備事業

4030万円【新規】  
養護老人ホーム「ささぶき苑」の移管先の社会福祉法人へ補助金を交付し、老朽化した施設の改修、業務内容の見直し、施設のバリアフリー化、個室化などの施設の改善を図る

## III. 多彩で循環性のある 持続可能なまち

●若者と女性の活躍応援事業

120万円【新規】  
若者や女性の団体が取り組む活動に対して補助金を交付し、自ら立ち上がり活躍する人材を育てる

●有害鳥獣捕獲防護事業

4653万円【拡充】  
有害鳥獣駆除班による捕獲活動に対する補助や、農地への捕獲柵や防



田んぼに設置された防護柵

護柵を設置する際の資材費に対し補助を行う

●農地中間管理事業

1360万円【拡充】  
農地の提供者に協力を交付すること、地域の担い手へ農地を集め、耕作放棄地の発生を防止する

● 頑張る企業応援事業

4億4220万円【拡充】

真庭市内への企業の立地や真庭産業団地の早期分譲を促進することにより、雇用機会の拡大を図る

● 小水力発電施設整備事業(設計)

700万円【新規】

北房ダムからの放流水で発電が可能な小水力発電施設を整備。発電した電力の売電収入(年142万円)を市が管理している北房地区の農業用集落排水処理施設の電気料金に充当し、維持管理費の節減を図る

● 木質バイオマスストーブ等導入促進事業

326万円【拡充】



補助の対象となる薪ストーブ

ペレットストーブ、薪ストーブ、農業用バイオマスボイラーなどを新規導入する際、設置費の3分の1を補助する

● 真庭産木材による新築促進事業

2700万円【拡充】

市内の建築業者に発注し、自ら居住するために市内製材所で製材した乾燥材(8立方尺以上)を使った木造一戸建て住宅(80平方尺以上)を新築しようとする人に対し補助を行い、真庭産良質木材の利用促進を図る(1件あたり60万円)

IV. 生活しやすく  
品格のある都市

● 文化芸術スポット事業

101万円【新規】

市内で活躍する文化芸術家の作品などを久世エスパスに展示するほか、真庭市の文化の魅力を知ってもらうイベントを開催する

● インターハイ登山競技事業

300万円【新規】

真庭市および新庄村(上蒜山・下蒜山・毛無山の3コース)で8月に開催される、「平成28年度全国高等学校総合体育大会第60回全国高等学校登山大会」を実施するために必要な準備と運営を行う



インターハイ会場の一つとなる下蒜山からの眺め

● 岡山米子線4車線化へ向けた利用促進事業

2000万円【新規】

中国横断自動車道岡山米子線の全線4車線化を実現するため、岡山県や周辺市町村などと連携して利用促進に取り組みとともに、4車線化の必要性などの情報発信を行う

V. 「ひと」と「まち」の将来に  
責任を持つ市役所

● 公共施設等長寿命化対策事業

1540万円【新規】

全ての公共施設などの更新・統廃合・長寿命化などの計画を策定し、公共施設などの総点検を実施し、緊急対応が必要な損傷箇所を修繕



まだまだ紹介できていない事業もたくさんあるんじゃない。予算についてもっと詳しく知りたいという人は、真庭市のホームページに予算編成方針、当初予算概要(ダイジェスト版)など詳しい資料を掲載してあるから、確認してみてもいいんじゃない。

詳しくは、

真庭市 平成28年度予算

検索